

平成23年度

奈良県青少年育成施策実施計画

<Ⅲ 主要推進事業の概要のみ>

奈良県

Ⅲ 主要推進事業の概要

項目	事業概要	担当機関	23予算額 千円
I 青少年の主体的な活動の支援	(1) 青少年活動の機会提供 <p>・ユースボランティア育成事業 青少年ボランティアの育成支援とボランティア体験の機会提供を行う。 ①ならユース・イベントサポーター事業 様々なパフォーマンスを行う青少年文化ボランティアの養成と各種イベントへの派遣・参加誘導を行う ②地域ふれあい体験事業 自然体験・文化体験を交えた地域貢献ボランティア活動を通じ社会性、自立性を養う。 対象 小学4年～18歳 20人 場所 十津川村 野迫川村【予定】 実施期間 8月5日(金)～8日(月)の3泊4日 運営 ボランティアによる実行委員会</p>	青少年・生涯学習課	1,643
	・「少年の主張」奈良県大会 青少年が自らの考えを論理的にまとめ表現する能力を養いながら、青少年の感性や主張を大人達が真摯に受けとめる契機とする。 発表者：原稿審査により入賞した中学生 実施時期：9月11日(日) 実施場所：御所市アザレアホール	青少年・生涯学習課	566
	・野外活動センター主催事業 はやま国際交流の森 ～学社融合推進事業～ 大学等と連携して野外活動や共同生活を通じて、様々な国の文化や習慣を学び、国際感覚を養う。 大和高原・四季とのふれあい 大和高原の四季折々の自然の中で、様々な野外活動や自然体験を通して、人と自然とのふれあいを考える。 はやまフェスタ in 都祁 地域で活躍する様々な団体が一堂に会し、吐山の自然に触れながら交流活動の輪を広げるとともに、地域の活性化を図る。 ガーデンハウス in はやま 自然の中で、様々な料理を作ったり、ものづくりを楽しむとともに、自然とのふれあいを体験する。 自然観察会 「人と人」「人と自然」を結び、自然愛護の気持ちを育てる。センター内の植物観察、昆虫観察、バードウォッチングを行う。 はやまに憩う クラフトや自然散策を通して四季のうつりかわりを体感し、自然を満喫する。	野 外 活動センター	423
	・森林環境教育体験学習推進事業 森林を環境資源として捉え、全ての県民で森林を守り育てる意識の醸成を図るため、野外活動センター内の森林や間伐材を活用し、木工講座を開催する。	野 外 活動センター	737
	新 野外活動センター施設整備事業 自然に即した日常では得難い体験活動を行う施設として充実させるための整備 ・シャワー、トイレ、管理棟の新設 ・ロッジ、テントサイトの補修、改修 ・本館、宿泊棟の廃止	野 外 活動センター	269,300

項目	事業概要	担当機関	23予算額 千円
I 青少年の主体的な活動の支援	<p>(1) 青少年活動の機会の提供</p> <p>新 高校生社会参画活動推進事業 奈良県を主会場に開催された全国高校総体時に県内高校生により成された「わっしょい倭」の精神を継承し、高校生による統一的なボランティア活動等を通じて、県内高校生の規範意識、社会性及び自主性を高めるとともに、県内各校の生徒会活動の活性化を図る。</p>	生徒指導 支援室	1,200
	<p>(2) 青少年指導者の養成</p> <p>・ 青少年活動指導者養成事業 学校や家庭では体験できない野外活動、文化活動の指導者及び不登校・ひきこもり・ニートに悩む人を支援する人材養成を目的とした講座を開催する。 ① 青少年活動ボランティア養成講座 期間： 6月19日、7月30日～31日【予定】 場所： 橿原公苑、県立野外活動センター ② 青少年活動ボランティア実践力向上講座 期間： 10月、11月、2月 3回【予定】 場所： 奈良文化会館 ほか ③ ピアサポーター養成講座 期間： 5月～12月 講義3回、実習3回 場所： 県内支援機関ほか</p>	青少年・ 生涯学習課	567
	<p>・ 奈良県青少年指導員設置事業 地域における青少年育成活動の活発化を図る。 委嘱人員：186名 活動内容：青少年団体活動の指導、環境浄化活動、市町村との連携、地域事業への参画</p>	青少年・ 生涯学習課	167
	<p>・ 青少年育成指導者団体の育成 奈良県青少年育成ボランティア協会補助金 奈良県青少年指導員連絡協議会事業補助</p>	青少年・ 生涯学習課	7,634 (5,800) (1,834)
	<p>・ 青少年健全育成推進協議会事業 青少年関連団体の連携を密接にして、青少年の健全育成を推進する諸事業を行う当協議会に補助する。 構成：28団体及び県庁8課</p>	青少年・ 生涯学習課	425
	<p>・ 青少年民間団体の活動支援 青少年団体活動の促進と健全な団体育成を図るためその活動を支援する <生涯学習活動等推進事業> 全国青年大会 他</p>	青少年・ 生涯学習課	4,423
	<p>・ 野外活動センター主催事業 野外活動リーダー養成講座 ～はやま森の学校～ 青少年が野外活動を通じて、将来、地域のリーダー及び指導者として活躍できる基礎を養う。 中高生リーダーズキャンプ 自然の素晴らしさを体験しながら、野外活動の知識や技術についての研修を深め、地域のリーダー・指導者としての実践力を養う。 キャンプ補助員トレーニングキャンプ 野外活動の理論や技術を習得するとともにキャンパーへの支援のあり方を学び、補助員としての自覚と資質の向上を図る。 野外活動企画実践講座 様々な野外活動を実施するに当たり、活動推進者として必要な知識や理論を習得して、自校の野外教育活動教育に生かす。</p>	野 外 活動センター	423 (予算額再掲)

項目	事業概要	担当機関	23予算額 千円
I 青少年の主体的な活動の支援	<p>(3) 地域や家庭で子どもを育てる活動の推進</p> <p>・「高校生ヒューマンライツニュース」作成事業 県内の高校生リーダーが集い、人権に関する広報紙を作成・発行することを通して、高校生リーダーを育成するとともに、県内の高校生の人権意識の向上を図る。 具体的内容：企画委員(各学校代表より)で企画委員会を組織し、広報紙の内容検討及び作成を行い、県内公立・私立高等学校、特別支援学校に配布する。 実施：奈良県高等学校人権教育研究会に委託</p>	人権・社会教育課	128
	<p>■ 学校・地域連携事業 地域ボランティアの参画を得て、地域全体で放課後支援を軸とした学校支援の取組を進めるとともに、地域教育力の向上を図る。 国1/3 県1/3 市町村1/3の補助事業 また、従来の放課後子ども教室と学校支援地域本部の組織の一体化に向けて、アドバイザーを各市町村及び実施団体に派遣し、抱える課題の解決、情報収集、県との連携強化を図る。</p>	人権・社会教育課	36,753
	<p>・家庭教育推進事業 親の子育てを支援するため、家庭教育に関する啓発活動や保護者を対象とした支援事業の充実を図る。 ①「出前合唱団・出前合奏団」の派遣 ②家庭教育支援講師等の派遣 ③「家庭教育7か条」の配布、活用促進 ④家庭教育イベントの開催</p>	人権・社会教育課	1,884
	<p>・高校生「こんにちは赤ちゃん」体験事業 次代の親となる高校生を対象に、自己や他人への思いやりの気持ちをはぐくむとともに、子育ての大切さ、生命や家族の大切さ等の理解を深めるため、乳幼児とのふれあいや親との交流体験を実施する。 県立高校35校</p>	学校教育課	1,000
	<p>・「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動事業 幼児期の子どもの生活習慣の向上、規範意識の芽生えを育成するとともに親子のかかわり方を見直し、家庭の教育力の向上を図る。 ・「こども3つのやくそくカレンダー」を幼稚園・保育所に通う3歳以上の子どもと保護者に配布し、7月～8月の2か月間、家庭において3つの約束に取り組む ・優秀園・所の決定：20園・所程度、取組内容を啓発</p>	人権・社会教育課	2,054
	<p>・「見直そう！家庭と学校協働プロジェクト」 本県の子どもに見られる基本的な生活習慣や規範意識、社会性などの課題改善に向け、県内小学校5校をモデル校として指定し、地域・学校の実情や課題を踏まえ、家庭・地域と学校とが協働して読書活動や体験活動、規則正しい就寝・起床、ノーテレビデーなどの推進に取り組み、その成果を県内に周知する。</p>	学校教育課	2,600
	<p>■ 夏休みノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ事業 ノーテレビ・ノーゲームデーの取組を通して、家庭の会話を促すとともに子どもの生活習慣や規範意識を向上させる。</p>	学校教育課	1,000

項目	事業概要	担当機関	23予算額 千円
Ⅱ 青少年を取り巻く環境整備	<p>・奈良県青少年の健全育成に関する条例の施行・運用 条例の周知徹底と実効性のある施行・運用を行い、青少年を取り巻く社会環境の浄化を図る。</p> <p>①条例内容の広報・啓発 ②図書類等の有害指定及び優良映画等の推奨 ③有害環境浄化対策 各市青少年（指導）センター等と連携して、書店、ビデオ店、コンビニエンスストア、ゲームセンター、カラオケボックス、インターネットカフェ、図書類自動販売機設置箇所等への立入調査を実施し、実態把握及び適宜指導を行うことにより有害環境浄化活動を推進する。 実施期間：7月～8月（「青少年の非行・被害防止運動」） 11月（「奈良県子ども・若者育成支援強調月間」） その他随時実施 ④青少年非行防止及び被害防止活動の推進 「青少年の非行・被害防止運動」中（7月～8月）の街頭啓発活動による県民意識の高揚を図る。</p>	青少年・生涯学習課	510
	<p>・青少年問題協議会運営等事業 青少年問題に関する重要事項を調査審議し、併せて関係行政機関相互の連絡調整を図る。</p>	青少年・生涯学習課	1,123
	<p>・青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム事業 青少年がメディアを安全に安心して利用するための推進体制を整備するとともに、青少年指導者等の意識醸成やメディア対応能力の育成を行う。（文部科学省委託）</p>	青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム（事務局：青少年・生涯学習課）	—
	<p>・薬物乱用防止対策事業 青少年が、薬物乱用がもたらす健康被害や社会的な弊害について認識を深め、薬物乱用を拒絶する意識を育成する。</p> <p>①「ダメ。ゼッタイ」普及運動 ②麻薬・覚せい剤乱用防止運動 ③薬物乱用防止教室による啓発活動 ④薬物乱用防止指導員による活動支援 ⑤大学等の学園祭を利用した啓発活動</p>	薬務課	579
	<p>・生徒指導 ①県立高等学校生徒指導費 生徒指導上の諸問題に対し、積極的に生徒指導を推進するため、県立高等学校において、教員の巡回指導の充実並びに、関係機関・団体との連携等に必要経費を支給する。 ②広域生徒指導費 関係機関との連絡協議会等の開催並びに広域生徒指導担当指導主事による学校訪問等、広域生徒指導を推進する ③学校適応対策推進事業 適応指導の在り方についての実践的研究、中途退学の防止、適応指導の充実を図るための経費を支給する。 ④児童生徒健全育成推進事業 高校生社会参加活動推進事業等による生き方在り方に関する心の教育を推進する。 ⑤暴力行為等問題行動対策緊急支援事業 いじめや暴力行為等、突発的かつ重大な問題事象等への対応支援として経費を支給する。</p>	生徒指導支援室	5,032

項目	事業概要	担当機関	23予算額 千円
Ⅱ 青少年を取り巻く環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題行動対策事業 困難な問題行動等が発生した学校に教員・警察官OB・OGからなる「学校支援アドバイザー」をチームで派遣し、学校・保護者を支援して、早期の解決を図る。 	生徒指導 支援室	9,970
	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ対策支援事業 教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを派遣することにより、いじめ等問題行動等の解決への対応を図る。 	生徒指導 支援室	2,500
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規範意識の改善提言及び生徒指導指針策定事業 児童生徒の規範意識の醸成を図るため、「子どもの規範意識向上推進委員会」により策定された提言や生徒指導ガイドラインを踏まえた県下の状況について意見を聴取する。 	生徒指導 支援室	200
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の問題行動等対策事業（緊急雇用対策） 児童生徒の問題行動の減少及び高等学校の中途退学予防のため、問題行動等で困難を抱える学校に「学校サポーター」を雇用・配置し、生徒指導の充実を図る。 	生徒指導 支援室	83,862
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校非公式サイト監視・調査研究事業（緊急雇用対策） インターネット上の有害情報である学校裏サイトやプロフ等、ネット絡みのいじめや犯罪から児童生徒を保護するため、県内全公立中・高等学校に対するネットパトロールを実施する等の調査研究を行う。 	生徒指導 支援室	9,000
相談機関等の活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待防止支援事業 ① 児童への早期の心のケアの実施 ② 保護者に対するカウンセリングの充実 ③ 児童虐待防止ネットワークの推進 市町村体制強化支援事業 奈良県要保護児童対策地域協議会の開催 ④ 児童虐待対応24時間体制整備 ⑤ スーパーアドバイスチーム派遣支援事業 法的助言等専門的アドバイスを実施。 ⑥ 意識改革・スキル向上のための研修を実施 基礎知識、専門実務研修、分野別指導等 ⑦ う蝕ハイリスク児歯科保健指導モデル事業 	こども家庭課	16,882
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新 児童虐待防止特別対策事業 県、市町村における児童虐待相談体制の強化、要保護児童・家庭の把握、県民への通報徹底や児童虐待の未然防止への推進等、児童虐待の防止強化に向けた各種の取組を実施 ① 関係機関別の児童虐待対応力向上 ② テーマ別の児童虐待対応力向上 ③ 児童虐待防止に向けた啓発強化 ④ 市町村への事業補助金 	こども家庭課	160,021

項目		事業概要	担当機関	23予算額 千円
Ⅱ 青少年を取り巻く環境整備	(2) 相談 機 関 等 の 活 動 の 充 実	・ 家庭支援電話相談事業「こどもと家庭テレホン相談」 児童及びその家族に関する問題について、電話による相談を通じて早期に適切な援助を行う。	こども家庭課	4,768
		・ 児童家庭支援センター運営事業 休日や夜間の相談をはじめとする地域に密着したきめ細かい相談を実施する。	こども家庭課	16,492
		・ 子育て電話相談室「安心子育てダイヤル」運営事業 経験豊富なボランティアを活用した電話相談を実施する。	子育て支援課	1,152
		・ たばこ対策推進事業 青少年の喫煙を防止し、大人が吸うたばこからの受動喫煙を防ぐため、たばこ健康に関する教育活動や相談窓口の充実と環境づくりを推進する。 ①たばこ対策推進連絡会にて、喫煙防止・受動喫煙防止対策、禁煙支援について協議する。 ②学校における講習会（生徒、保護者が対象） ③公共施設における全面禁煙化の推進	健康づくり推進課	800
		・ 女性に対する暴力防止対策事業 夫・パートナーからの暴力（DV）、性犯罪、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等は、女性の人権を著しく侵害する行為である。女性に対する暴力の根絶をめざし、県民の意識啓発をはかるためにフォーラムを開催。 女性に対する暴力防止フォーラム	女性支援課	264
		新 DV防止啓発素材等作成配布事業 配偶者・パートナー等からの暴力、性犯罪等の防止に向けて、県民の意識啓発に取り組むための啓発素材等を作成・配布。 中学生・高校生に向けたデートDV防止啓発冊子、DV予防のための男女共同参画についての意識付け教材を作成し、各学校の授業で活用を図る。	女性支援課	5,300
		・ 女性センター相談事業 青少年を含む女性のあらゆる悩み事について、相談に応じるための相談コーナーを設け、相談員及び弁護士が相談に応じる。 女性相談員 5名 一般相談 火～日曜日 女性弁護士 3名 法律相談 週3日（予約制）	女性センター	12,608
		・ 男性のための相談事業 青少年を含む男性の「仕事」や「人間関係」の悩み・ストレス等に対し、相談員が電話相談や面接相談（予約制）に応じる。 毎週土曜日 13時30分～16時30分 毎月第3金曜日 17時～20時 （面接相談は毎月第3金曜日のみ）	女性センター	184
・ ドメスティック・バイオレンス被害者支援を考える講座 ドメスティック・バイオレンスの実態、被害者女性の心理、暴力をふるう側の問題などを学び、社会全体で被害者を支援していく方法等について男女でともに考える。 時 期 : 10月頃	女性センター	84		

項目		事業概要	担当機関	23予算額 千円
Ⅱ 青少年を取り巻く環境整備	(2) 相談機関等の活動の充実	<p>・ アドバイザー派遣事業 青少年を含む自殺予防を図るため、各種相談窓口等にアドバイザーとして専門家を派遣する。 ①アドバイザー派遣事業 自殺予防に関わる関係機関へ臨床心理士等の専門家を派遣し、担当職員への助言や研修等を行う。 ②自殺予防ホットライン事業 精神保健福祉センターに自殺予防に関する専門電話を設置して相談を行うとともに、必要に応じて面接相談等を実施する。</p>	精神保健福祉センター	10,533
		<p>新 児童生徒の自殺対策事業 いじめ等を苦にした児童生徒の自殺予防の取組として、次の事業を実施する。 ・ 児童生徒の抱える悩みを調査し、結果を分析し、各校の自殺予防の取組に役立てる。 ・ 児童生徒が携帯電話等から気軽に相談できるメール相談窓口を開設し、スクールソーシャルワーカーを相談員として配置し、相談内容に迅速かつ的確に対応する。</p>	生徒指導支援室	6,800
		<p>・ 「心の教育」推進事業 子どもたちの悩み、不安、ストレス等の解消を図り、問題行動の防止、いじめ、不登校への対応の充実を図る。 ①スクールカウンセラー活用事業 ②生徒指導・進路指導総合推進事業 問題を抱える子ども等の自立支援に関する調査研究</p>	生徒指導支援室	51,223
		<p>・ 電話教育相談事業 「あすなろダイヤル」の運営 子どもの育成上の悩み、学校生活の悩み等に専門の相談員が対応。教育研究所内に設置 24時間いじめ相談ダイヤル」の運営 いじめに関する相談を年中無休24時間体制で対応</p>	教育研究所	15,882
Ⅲ 青少年の社会的自立の支援		<p>・ 地域若者自立支援ネットワーク連絡会議事業 青少年の社会的自立の推進に関する事業の総合的進行管理のため、会議等の開催と資料収集、アドバイザー招聘等を通じたニート問題に関する調査検討を行う。</p>	青少年・生涯学習課	257
		<p>・ 子ども・若者支援委託事業 ニート状態に悩む青少年に自立をサポートするNP0、各種団体等に対し、ニートの自立に向けた働きかけを強化するためのプログラム等を企画提案させ、専門家を交えた選定審査会において選考決定のうえ、支援プログラムの委託を行う。</p>	青少年・生涯学習課	1,049
		<p>・ ニート・ひきこもり支援モデル事業 市町村における「子ども・若者支援地域協議会」の設置を促し、関係機関の連携・協力体制を一層強化、より効果的なニート対策への取り組みを促進</p>	青少年・生涯学習課	1,150
		<p>新 ニート・ひきこもり訪問支援事業 ニート・ひきこもり等を支援するため、訪問支援（アウトリーチ）に対応する臨床心理士を新たに配置する。なお、支援を効果的に行うため、地域若者サポートステーションに配置する。</p>	青少年・生涯学習課	1,500

項 目	事 業 概 要	担当機関	23予算額 千円
Ⅲ 青少年の社会的自立の支援	<p>・ パソコンなら青年お助け隊事業 パソコンのメンテナンス等の事業実施により、ニート等を新規雇用し、就労体験を積むことにより一般企業への就業に繋げる。</p>	青少年・生涯学習課	13,840
	<p>・ 農林業を通じた自立支援事業 不登校・ひきこもり・ニート・非行等の青少年と共同生活を営み、地域の担い手不足が深刻な農業・林業等を通して、彼らの自立支援を行う。</p>	青少年・生涯学習課	7,006
	<p>・ 若年者雇用対策推進事業等 若年者の雇用を促進するため、しごとiセンターで重点的取り組みを実施する。 ・ リストップサービスセンター「ならジョブカフェ(ヤングコーナー)」の運営 ・ キャリアコンサルタントによる就業相談、セミナーの開催 ・ 高校生を対象とした就職フォーラム「ジョブサマースクール」の開催 ・ 若年者の就職を支援するため、就職活動セミナーや企業合同説明会等を県がコーディネートして実施する。 ・ 地域若者サポートステーションの支援 社会的自立が困難な若者やその家族の相談機関「地域若者サポートステーション」の運営を支援する。</p>	しごとiセンター 雇用労政課	2,498 1,804
	<p>・ 新卒学生等地元就職応援事業 県内企業に対して新卒向けの求人開拓を行うとともに県内大学等の就職活動をしている学生等を対象にして、県内企業の新卒求人情報等の提供、就職相談、就職セミナーやカウンセリングを実施する。</p>	雇用労政課	60,452
	<p>■ 新卒未就職者スキルアップ支援事業 新卒未就職者に対して研修や企業での実習を行い、早期の県内就職を支援する。</p>	雇用労政課	178,159
	<p>・ 県立学校県内企業就職支援事業 生徒の就職活動をより円滑に進めるとともに、県内就職率の向上を図るため、県内企業の新たな求人を開拓する。</p>	学校教育課	15,167
	<p>・ 県立学校就職支援事業 生徒の就職状況の悪化に対応し、就職未内定者の就職活動をより円滑に進めるため、就職支援員を配置する。</p>	学校教育課	7,509
	<p>■ 不登校対応ガイドライン策定事業(緊急雇用対策) 不登校対策委員会を立ち上げ、より効果的な施策や取組について提案を受けるとともに、各校の不登校対策の実態等を調査し、そこからみえる課題を元にガイドラインを策定し、不登校児童生徒の減少に努める。</p>	生徒指導支援室	8,200
	<p>・ 不登校対策のための特別教室設置モデル事業 不登校対策のため、市町村における特別教室の設置を推進し、弾力的な教育課程に基づいた学習指導を実施。</p>	教育研究所	3,600